

## 2018年度9月卒業式 祝辞

梅村学園総長・理事長 梅村清英

中京大学の2018年度9月卒業式にあたり、学校法人梅村学園を代表して祝意を述べさせていただきます。皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。お子さまを支えてこられた保護者、ご家族の皆さま方に、心よりお慶び申し上げます。

本学の卒業生はすでに13万人を超えています。学部卒業生が12万9000人、大学院修了生を合わせると13万2000人に達しています。皆さんはその仲間となります。同窓会の組織は、各都道府県に支部があります。職域別、学部別の同窓会の発足も相次いでいます。さらに、台湾、アメリカのニューヨークとロサンゼルス、オーストラリア、カナダの海外五か所に支部があります。

中京大学には、全国から学生が集まり、大学で学び、卒業後は全国各地で活躍しています。同窓生同士のつながりは国内だけでなく、海外にも広がり、グローバルなネットワークを形成しています。

先週の15日には、東京で2回目となる名刺交歓会を開催しました。関東地区の同窓生が多数参加し、出身学部や年代を超えて交流しました。異業種間ビジネス交流会を兼ねており、参加者同士が新たなつながりを求めたり、ビジネスのヒントをつかんだりと活発に交流する場となっています。名刺交歓会は毎年名古屋で開催してきましたが、関東地区でも定着してきており、年を追って同窓生の輪が広がっています。

皆さんは今後とも、母校とのつながり、同窓生同士の絆を大切にしてください。

中京大学は開学60周年の2014年を機に策定した、長期計画「NEXT10」に基づき、各種の改革を実行しています。その中で、「卒業生連携」は柱の一つです。皆さんが愛する母校、誇れる母校へと、絶え間ない改革を進めていきます。中京大学同窓会は、来年春から中京大学校友会へと名称を変更し、より広がりのある組織にしていきます。

中京大学を中核とする梅村学園は、5年後の2023年に創立100周年を迎えます。寄付事業や学園史づくりなどの記念事業を始めています。ぜひこれからも、梅村学園、中京大学の動向に注目してください。

さて、ここで国内外の政治、経済の動きに目を転じてみましょう。日本経済は、安倍政権の経済政策「アベノミクス」により、景気は底堅さを見せています。ただ、デフレの脱却までには至っておらず、持続して成長していくための手立てが求められています。一方で、少子高齢化の進展と、それに伴う社会保障のあり方などは引き続き課題となっています。来年夏の参議院選挙でどんな議論が展開されるか注目すべきでしょう。

世界では、アメリカのトランプ大統領の保護主義的な政策が波乱要因となっています。とりわけ中国との間では、知的財産権侵害への制裁措置として輸入品に高関税をかけると、中国側が同規模の報復措置を発動し、貿易戦争の様相を呈しています。世界の二大経済大国に

よる貿易摩擦は、EUや日本にも影響が及び、世界経済全体をより一層不安定にする懸念があります。

国内では自然災害が相次ぎました。6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、そして今月に入り台風21号、北海道大地震では多くの方が被災し犠牲となりました。また、酷暑が続く、熱中症で救急搬送された人は過去最多となりました。災害や気候変動に対する備えを怠ってはならないでしょう。

激動する社会で仕事をし、生活していく中で、必ずピンチもあれば、チャンスもあります。皆さんはたくましく生き抜く知恵を持ち、大いに飛躍してください。本学の教育目標は「自ら考え、行動することのできるしなやかな知識人の育成」です。「しなやか」とは、柔軟で弾力に富んでいる、平たく言えば、何事にもくじけない、といった意味があります。皆さんはすでに、そうした資質を備えています。本学卒業という事実で自信を深め、それを誇りとしてください。

これからも広く、深く学び、多くの友人をつくってください。そして「高い志」を持って、常に校訓の「真剣味」で臨んでください。

本日は、ご卒業、誠におめでとうございます。